

ゴアの DNA の中には、私たちが持つ材料技術と社会貢献への可能性は切り離せないものとして組み込まれています。ゴアはパーパス（存在意義）を持ってイノベーションを起こし、新たな可能性の探求を通してお客さまと地域社会の課題を解決する有意義なソリューションを提供してまいります。

1950 年代 ●

ビル・ゴアとヴィーヴ・ゴアが、デラウェア州の自宅地下室で W. L. Gore & Associates（ゴア）を立ち上げる。ポリテトラフルオロエチレン（PTFE）が秘める未知の可能性の探求を目的としたベンチャーの最初の製品である絶縁ワイヤー&ケーブルは、ミリタリー産業や当時急成長していたコンピューター産業に最大の販路を見出ししていく。

1970 年代 ●

産業設備のメンテナンス、配管、空調設備の市場に参入するため、工業用製品グループの設立を発表。メディカル・プロダクツ・ディビジョンの立ち上げとなる、ePTFE 製人工血管を発売。また、防風性、防水性、透湿性を兼ね備えた初の GORE-TEX ファブリクスを発売。

1990 年代 ●

ゴア初の電磁波（EMI）シールドテクノロジー製品を発表。GLIDE® フロスを発売、一般消費者向け製品（ファブリクス製品を除く）の中で最も高い認知度を得る。燃料電池テクノロジーで使われる膜 / 電極接合体を開発。高音質・長寿命をかなえるコーティングギター弦、エリクサー® スtrings を発売。初のダイオキシン分解フィルターシステムを発表。

2010 年代 ●

優れた透湿性が不可欠の激しい有酸素運動向けに GORE-TEX アクティブシェルを発売。サブミクロンレベルの粒子を捕捉するタービンフィルターの開発が評価され、フッ素ポリマーの優れたイノベーションに贈られる「デュポン・ブランケット賞」を受賞（10 度目）。モバイル電子機器市場に防水性能を格段にアップしたベント製品を投入。重力波検出の偉業に GORE® ケーブルが貢献。ゴアの医療機器のインプラント件数が全世界で 4,500 万件を超える。

● 1960 年代

会社として初の特許を取得。歴史的な NASA のアポロ 11 号計画では、ゴアのテクノロジーが月面で使われた。ビルとヴィーヴの息子ボブ・ゴアが、延伸ポリテトラフルオロエチレン（ePTFE）を開発。多用途に使えるこのフルオロポリマーにより、ゴアの製品ラインナップが劇的に拡大する。

● 1980 年代

GORE-TEX フットウェアラミネートと GORE-TEX グローブインサートを開発。NASA のスペースシャトル第 1 号「コロンビア」の宇宙飛行士の宇宙服に GORE® ファイバーが採用される。ゴア初の医療用 ePTFE パッチ製品として心臓修復用パッチを発売。続いてヘルニア修復用パッチなどさまざまな製品を発売。メディカル製品の開発が評価され、「人類に貢献するポリマー」として「プリンスフィリップ賞」を受賞。

● 2000 年代

アメリカで先天性心疾患や末梢動脈疾患、大動脈瘤を治療する低侵襲治療デバイスを販売開始。GORE® ファイバー製の建築用ファブリクスが、ロンドンのウィンブルドンテニス大会でセンターコートの新設開閉式ルーフに採用される。天候や静電気からの完全な防護性を備えた機能性ファブリクスの開発が評価される。Fast Company 誌に「アメリカで最も革新的な企業」として紹介される。創業 50 周年でこれまでのイノベーションの歴史を祝う。

*GLIDE® フロスの一連の製品とブランドは 2003 年に P&G に売却されました。

記載された製品は全ての市場で入手可能とは限りません。

GORE、GORE-TEX、Together, improving life、ELIXIR、MULTI-TET および記載のデザイン（ロゴ）は、W. L. Gore & Associates の商標です。GLIDE は Procter & Gamble Company の商標です。1908330 Rev 4 © 2023 W. L. Gore & Associates, Inc.

